

30

装着後の走行速度は
30km/h以下の安全運転で!!

注意 この取扱説明書をよく読んで理解してから製品を使用してください。
この取扱説明書は必要なときに、すぐに取り出して読めるように、できる限り身近に大切に保管してください。

タイヤチェーン取扱説明書

- この取扱説明書に示されている△マークは、取り付け、取り扱いに関する安全上の注意事項ですので、厳守されますようお願いいたします。
- この取扱説明書に記載されていない取り付け、および使用は絶対に行わないでください。記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては責任を負いかねます。
- この商品、または取扱説明書の内容で不明な点等がありましたら、弊社にお問い合わせいただき、ご理解されたうえで取り扱いいただくようお願いいたします。
- 車種によっては、タイヤチェーン（以下チェーンという）を取り付けるとチェーンが車体に接触する場合がありますので、その際はお車をご購入になられた販売店にご相談ください。
- カタログおよび梱包容器に記載されている適用タイヤは【参考】です。タイヤのメーカーやトレッドの形状により、同一サイズのタイヤでも大きさに多少の差があります。チェーンをご購入されましたら、必ず事前にご使用になるタイヤに装着確認をしてください。不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせください。
- チェーンは消耗品です。常に予備のチェーンをトランク内等にご用意ください。
- セット内容は下記の通りとなっていますので、ご購入されたらすぐにご確認ください。
 - 一般品、スーパーエースには、
 - (1)チェーン本体 2本 (2)取扱説明書（本書、針金4本付） 1部
 - タートルエース、ラグエース、スーパーエースカムファスナーには、上記の他に、六角レンチ 1本
 - ブラボックスタイヤチェーンには、
 - (1)チェーン本体 2本 (2)チェーンバンド 2本 (3)腕力カバー付軍手 1双
 - (4)取扱説明書（本書、針金4本付） 1部
 - H型、タフリンクチェーンには、
 - (1)チェーン本体 1本 (2)取扱説明書（本書、針金4本付） 1部
- シンボルマークの意味

警告	安全のために、必ず守っていただきたいこと。守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
注意	安全のために、必ず守っていただきたいこと。守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

針金張り付け位置

1. 安全にお使いいただくために、必ずお守りいただきたいこと。

警告 走行について
チェーン装着中は、スピードを控え、車間距離を十分とって走行する。
●積雪および凍結路では、チェーンを装着していても絶対に安全ということはありません。車間距離を十分とり、速度は30km/h以下を厳守してください。
チェーン装着中は、「急」のつく動作をしない。
●急発進、急制動、急加速および急ハンドルは、空転やスリップ等を起こして走行が不安定となり危険です。

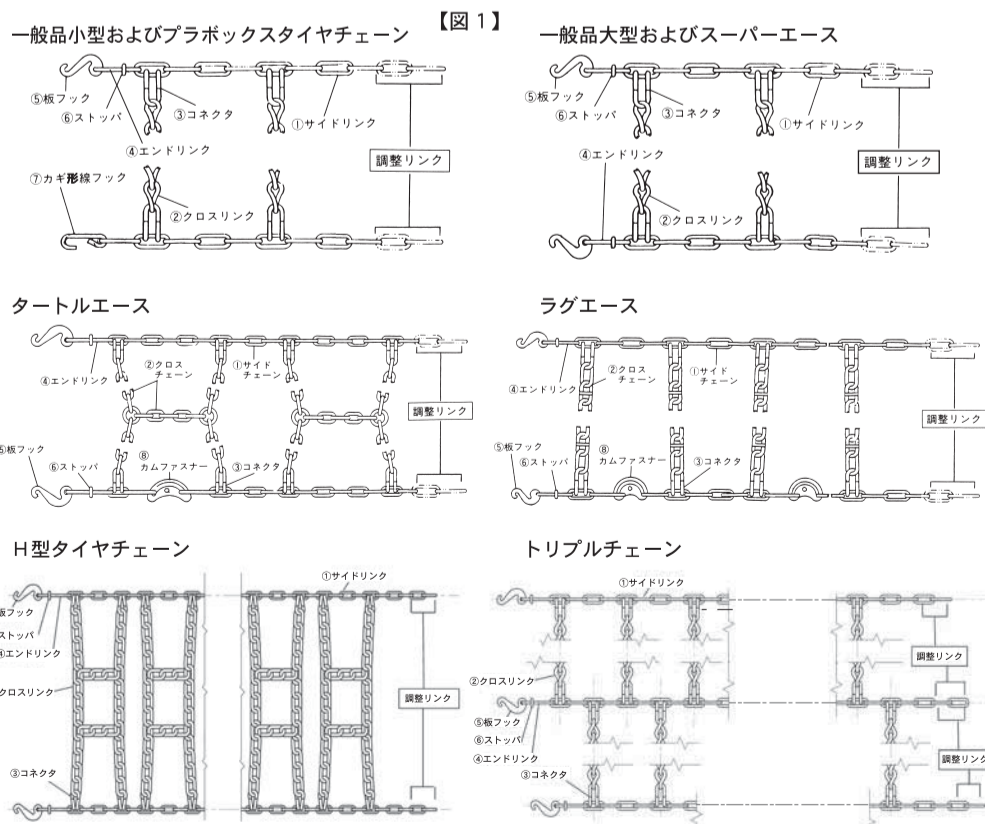
注意 走行について
走行中に異常（音、振動）を感じたら速やかに安全な場所に停車し、装着状態を確認する。
●そのまま走行を続けると、事故の原因となり危険です。
チェーンを付けたままで乾燥路は、走らない。
●積雪および凍結のない路面でチェーンを使用すると、チェーンが早く摩耗したり、壊れやすくなるだけでなく、普段より滑りやすくなるため、事故の原因となる場合がありますので、路面に氷雪がなくなったら、できるだけ早くチェーンを取り外してください。
チェーン装着直後、50～100m試走したら装着状態（ゆるみ、片より、フックの外れ等）を点検する。
●異常があれば、ただちに直してください。そのまま走行を続けると、事故の原因となる危険があります。
●ラジアルタイヤはタイヤ側面部分がうすく柔らかいため、傷つきやすく、パーストすることもありますので、走行中は時々、安全を確保できる場所で点検してください。
カーブを曲がる時は、手前の直線道路で確実に減速する。
●カーブでブレーキを踏むとFF車では後輪が、FR車では前輪が横滑りしやすくなります。
ブレーキ操作は、何回にも踏み分けるポンピングブレーキ操作をする。
●凍結路では、車輪がロックしてスリップすることがあります。
坂道の走行は、最も慎重に行う。
●上り坂では走行安定性が損なわれやすくなります。
下り坂でブレーキを踏むと横滑りしやすくなります。
長距離走行の際は、約50km走行毎にクロスチェーンの摩耗状況および装着状態を確認する。
●クロスチェーンが線径の1/3以上摩耗したら寿命です。新品のチェーンと交換してください。

注意 装着について
チェーンの装着前に
●タイヤの空気圧は、メーカーの指定する値に設定してください。空気圧が低いとタイヤ損傷の原因となる場合があります。
●車両の重量や特性に適した線径のチェーンを選びご使用ください。小型トラック用を除雪車両等に使用すると耐久寿命が短くなり早期破断することがあります。
着脱作業は、周囲の安全を確保し平坦な場所で行う。
●坂道での装着は、車体が傾き危険ですので絶対しないでください。
●取り付け作業中は、パーキングブレーキをしっかりとかけ、ハザードランプを点滅させ、必要によっては緊急停止表示板を設置し作業してください。
●着脱作業は、他の車両の交通に十分留意のうえ行ってください。
チェーンは駆動輪に正しく取り付けます。
●お車の取扱説明書および本取扱説明書のP5～P6に従い、車両の駆動輪に正しく装着してください。山道など必要に応じて従動輪にも装着してください。
●片輪のみの装着や、種類の違うチェーンの併用は危険なので絶対にやめてください。
●ダブルタイヤに装着する場合、安全性を高めるためにもトリプルチェーンをご使用ください。
装着前にチェーンを点検する。
●チェーンを路面に広げ、ねじれのないことを確認してください。ねじれたまま使用すると、クロスチェーンが早期に切損することがあります。
取り付け後は、走り出す前に必ず正しく取り付けられているか確認する。
●タイヤチェーンがゆるんでいた、左右に片寄っていますと走行中にコネクタが路面に接地したりタイヤで踏んだりし、早期折損や変形により外れ、車のフェンダー等を損傷させる原因となりますのでゆるみ、片寄り無く均等に装着し直してください。本来正しく装着されていれば、サイド（ファスナー含む）やコネクタは路面に当たる事は無いので摩耗する事はありません。
●クロスチェーンがタイヤに平均にかぶさっているか確認してください。
●コネクタの折り曲げ部末端が外側を向いているか確認してください。
●余ったサイドチェーンが、針金等で確実に固定されているか確認してください。固定しないと車を損傷する事があります。
●チェーンバンドのクリップの先端が、外側を向いているか確認してください。
●チェーンバンドが、5ヵ所以上で平均に確実に固定されているか確認してください。
装着した際の調整リンクは、通常1～3リンク余るよう設計されています。
●望ましい装着状態は、内側、外側同数または内側を1リンクきつ締めた状態です。
●装着状態に不備があった場合、走行中チェーンが外れることがあります。また、車両やタイヤの損傷の原因となる場合があります。
●摩耗したクロスチェーンを反転させて使用する事や肉盛溶接は絶対にやめてください。早期に破損し車を損傷させる原因となります。

注意 適用について
装着可能な車の装着可能なタイヤサイズだけに使う。
●適合サイズ以外のタイヤに使用すると、チェーンが外れたり、チェーンや車を壊したりして事故の原因となります。
●スタッドレスタイヤ等、ノーマルタイヤ以外には、同一サイズのタイヤでも適合しない場合があります。
●車種によっては、チェーンを装着した際、チェーンが車体の一部に接触する場合がありますので、その場合はお車をご購入になられた販売店にご相談ください。

各部の名称

- (1)サイドチェーン：サイドリンク①を所要数連結したものを。
- (2)クロスチェーン：クロスリンク②を所要数連結したものを。
- (3)コネクタ：クロスチェーンをサイドチェーンに取り付ける金具③。
- (4)エンドリンク：サイドチェーンの一端に板フック⑤を取り付けるための金具④。
- (5)フック：サイドチェーンの一端と調整リンク（【図1】中二点鎖線部分）とを連結するための金具（⑤、⑦、⑧）。
※一般小型は、カギ形線フック⑦が内側
- (6)ストッパ：板フック⑤が外れないようにする金具⑥。
- (7)調整リンク：同一呼びのチェーンを数種類のタイヤに使用するために、サイドチェーンの長さを調整するためのリンク。
- (8)カムファスナー：サイドチェーンのたるみをとるための金具⑧。



2. 取り付け前に

ご利用前に必ず取り付け練習をしてください。

初めての取り付けは、思ったよりうまくいかないものです。積雪および凍結路へ出かける前に、取り付けのコツをつかんでください。

3. 取り付け方法

注意

- チェーンの着脱時には必ず手袋（軍手等）をご着用ください。素手のまま作業をしますと、思わぬケガをすることがあります。
- ホイールカバーを装着している場合はホイールカバーを外してください。ホイールカバーを傷つけることがあります。

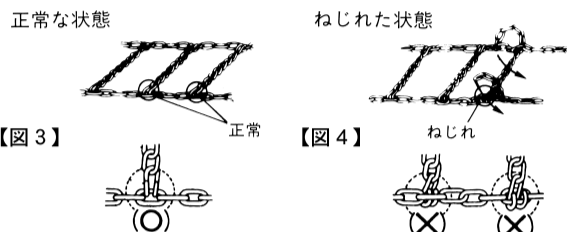
チェーンの装着方法には四つの方法があります。

- (1)チェーンをタイヤに掛け、車を前進させて装着する。
- (2)チェーンをタイヤの後方路面に広げ、その上に車を後退させてタイヤを乗せて装着する。
- (3)ジャッキアップによりタイヤを浮かせて、装着する。
- (4)タイヤを外して装着する。

このうち、最も簡単に装着できる(1)の装着方法を、以下のとおり説明します。

- ①チェーンを装着する駆動輪を確認してください。FF車＝前輪、FR車＝後輪、4WD車については、ご使用車両の取扱説明書の指示に従ってください。

- ②チェーンを地面に広げ、ねじれのないことを確認します。ねじれた状態のときは、【図4】の矢印のように通し正常な状態【図3】にしてください。

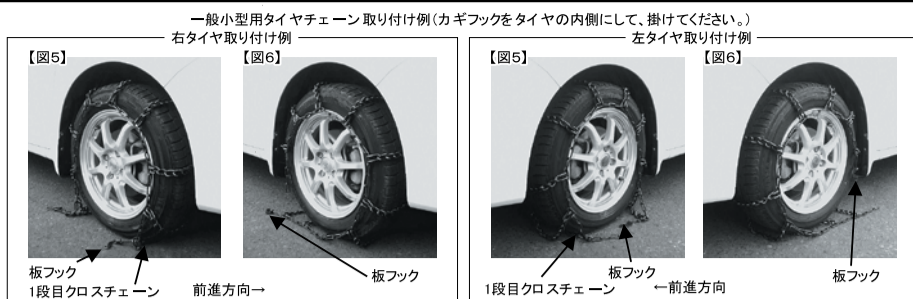


- ③一般小型用はカギフックをタイヤの内側にして、クロスチェーンがタイヤに平均にかぶさるように、掛けてください。【図5】参照

- ④その際、コネクタの曲げ部が必ず外側に向くように、かぶせてください。【図8】参照

- ⑤【図5】のように、前進方向1段目のクロスチェーンを、タイヤと路面間に軽く押し込んでください。

- ⑥【図6】のように、ゆるやかにタイヤを1/4回転させます。



注意

- クロスチェーンはタイヤに平均にかぶさらないと、走行中にチェーンが外れる可能性があります。

注意

- コネクタの曲げ部が内側に向くようかぶせると、タイヤのサイドウォールをいためます。

注意

- 余りリンクは、針金等で固定しないと、車のフェンダー等を損傷することがあります。

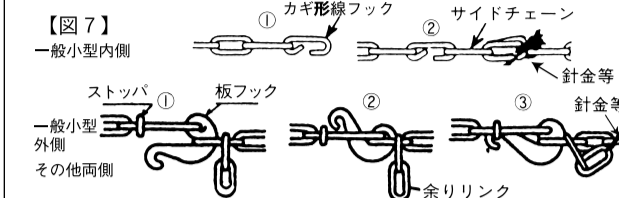
注意

- チェーン装着後は、チェーンバンドでしっかり固定しないと早期切損します。

注意

- チェーンバンドのクリップの先端を内側にする、タイヤのサイドウォールを傷めます。
- アルミホイールをご使用の際のチェーンバンドは、ゴムバンド（クリップは樹脂製）をご使用ください。ホイールを傷つけることがあります。

- ⑦クロスチェーンが、タイヤに平均にかぶさっているか再確認しながら、【図7】のように、まず内側から連結し、それからゆるみのないように外側を連結します。



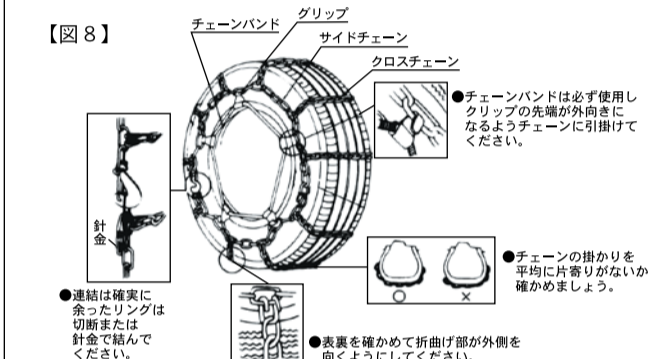
- ⑧サイドチェーンの連結後、車両を前後に5～6m移動させるとチェーンがタイヤに馴染み、ゆるみが発生しますので、再びサイドチェーンをきつく連結し直してください。

- ⑨調整リンクの余りリンクは切断するか、針金等で固定してください。【図7】、【図8】参照

- ⑩装着したチェーンは、必ずチェーンバンドで5ヵ所以上均等に力が加わるよう、しっかり固定してください。【図8】参照

- ⑪【図8】のようにチェーンバンドのクリップの先端は、必ず外側に向くようにしてください。

- ⑫チェーン装着後、50～100m試走したら装着状態（ゆるみ、片寄り、フック外れ等）を点検する。

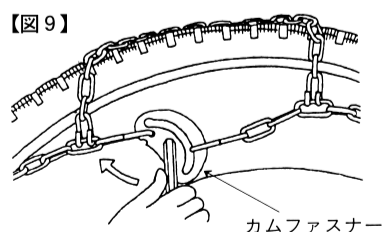


4. タートルエース、ラグエースのカムファスナー使用方法

注意

- チェーンの着脱時には必ず手袋（軍手等）をご着用ください。素手のまま作業をしますと、思わぬケガをすることがあります。

- カムファスナーがタイヤの外側になるようにタイヤにかぶせてください。
- カムファスナーが全て、ゆるんだ状態になっているか確認してください。（縮めた状態になっているものがあれば、ゆるんだ状態にしてください。）
- タイヤをゆるやかに1/4回転させてください。
- クロスチェーンがタイヤに平均にかぶさっているか確認しながら、まず内側のサイドチェーンを連結してください。次に、外側のサイドチェーンを連結してください。その際、サイドチェーンの余りリンクは、できるだけ内側と外側が同数になるように装着してください。
- サイドチェーン連結後、車両を前後に5～6m移動させるとチェーンにゆるみが発生しますので、再びサイドチェーンをきつく連結しなおし、ゆるみをとってください。
※1～2か所のカムファスナーを締めつけただけでも十分な締めつけができるようにサイドチェーンの余りリンクを調整してください。
- 最後に添付の六角レンチでカムファスナーを1～2か所締めつけてください。残りは増し締めの際にご使用ください。
※最初から全てのカムファスナーを締めつけると、増し締めができなくなりますので、最初から全てのカムファスナーを締めつけてご使用にならないでください。
- チェーン装着後、50～100m試走したら装着状態（ゆるみ、片寄り、フック外れ等）を点検する。



5. 取り外し方法

注意

- 取り外し作業は、装着時同様に手袋をご着用ください。
- 外側のサイドチェーンを内側に落とさないように注意してください。

- (1)チェーンバンドを外します。
- (2)外側のフックを外します。
- (3)外側のサイドチェーンを両側に広げて、内側のサイドチェーンをゆるめます。
- (4)内側のフックを外します。
- (5)内側のサイドチェーンを外側に引き出します。
- (6)車両を移動して、チェーンを回収し作業は終了です。

6. 使用限度

注意

- 使用限度をこえたチェーンをそのまま使うと、走行中にチェーンが壊れて事故の原因となる場合があります。危険です。

タイヤチェーンは消耗品です。次の各項目を必ずお守りください。

- クロスチェーンが線径の1/3以上摩耗したら寿命です。新品のチェーンと交換してください。
- クロスチェーン以外の部分に著しい摩耗および変形があった場合は、取り付けに不備があったと判断します。そのまま使用することはできません。取扱説明書に従って装着していただくとともに、チェーンを新品と交換してください。

7. 保管方法・その他

注意

- チェーンを本来の目的以外にご使用になるとチェーンが切れて、重大な損害を負う可能性があります。

チェーンはロープと異なります。絶対に、牽引および吊り下げ等、本来の目的以外にはご使用にならないでください。

- 長期間ご使用にならない時は、水洗い後乾燥させて防錆油等を塗布して保管してください。
- 寿命となったチェーンは鉄屑として廃品回収等にお出しください。

品質管理には、万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、現品に下記情報を添付の上、弊社にお申し出ください。

(1) お申出者の御氏名	(8) 不具合発生時の路面状況
(2) お申出者の連絡先（ご住所、電話番号）	(9) 不具合発生時の最大速度
(3) ご使用車両	(10) 不具合発生品の総走行距離
(4) タイヤサイズおよび種類	(11) 不具合発生品番、ロット番号
(5) 不具合内容	(12) ご購入年月日
(6) 不具合発生の日付時間	(13) ご購入店名
(7) 不具合発生場所	(14) その他

販売元

日発販売株式会社 オートパーツ営業本部
東京都港区東新橋2-14-1 NBFコモディオ汐留8階
TEL 03(6854)1607 FAX 03(6841)2801

製造元

株式会社東洋富士製作所 JIS認証工場
認証番号:JQ0208013 JIS規格番号:D4241
宮城県東松島市矢本字裏町78番地
☎0120-104-457 FAX 0225(82)9527